

## 炊飯器試験

### 1 試験目的

家庭用炊飯器の使用方法の違いによる消費電力量の差を比較する。

### 2 試験条件

#### (1) 炊飯条件 (3 ケース)

時刻	7:15	8:00	11:15	12:00	17:15	18:00	
ケース 1	▼ (2合炊飯)		▼ (1合炊飯)		▼ (2合炊飯)		
		▲ (2合朝食)		▲ (1合昼食)		▲ (2合夕食)	
ケース 2	▼ (5合炊飯)	炊飯器で保温					
		▲ (2合朝食)		▲ (1合昼食)		▲ (2合夕食)	
ケース 3	▼ (5合炊飯)	常温で保存※ 1					
		▲ (2合朝食)		▲ (1合昼食※ 2)		▲ (2合夕食※ 2)	

※ 1 ビニール製の容器にご飯を1合と2合にとりわけて常温で保存した

※ 2 保温時のご飯の温度と等しくなるように電子レンジで加熱した

#### (2) その他

周囲の温度・湿度	1 2℃・5 0% r h
米の使用量	1合あたり1 5 0 g (無洗米)
水の使用量	1合あたり1 8 0 g

### 3 試験対象炊飯器

#### (1) 仕様

最大炊飯容量	1. 0 L	
消費電力(約)※	炊飯時	1 2 1 0 W
	保温時	6 0 0 W (1 4. 4 Wh※ 2)
質量(約)	6. 9 k g	
大きさ	幅2 6. 6 c m×奥行3 3. 8 c m×高さ2 3. 3 c m	

※ 1 消費電力は瞬時に消費する最大の電力容量

※ 2 1時間あたりの電力量

#### (2) 炊飯運転

工場出荷時の設定

#### 4 試験設備



以上